

菊池寛 「青洞門物語」

宮沢賢治 「永訣の朝」「いてふの実」

朗読 長尾奈奈

2024年11月9日（土） 14時30分開演

会場 日本近代文学館

主催 ROUNDOKU.TALKER.JP

協力 株式会社 仕事



朗読タイムレスストーリーシリーズ⑤

菊池寛 「青洞門物語」

宮沢賢治 「永訣の朝」「いてふの実」

朗読タイムレスストーリーシリーズ⑤

●菊池寛「青洞門物語」。奉公先の主人の妾と恋仲になった市九郎は、手討ちにされかけ咄嗟に主人を殺して、女とともに逃げてしまう。江戸を落ち、峠で茶屋を開きつつ時に人斬り強盗を働いていたが、市九郎は良心の呵責に苛まれ、ひとり家から駆け出した。出家を果たし「了海」と名をかえ贖罪のため諸国雲水の旅に出るが……。

●宮沢賢治「いてふの実」。ある日の明け方、丘の上のいちちょうの木は、霜のかけらが風に流されて飛んでゆく微かな音を聞きました。いちちょうの実たちはいつせいに目を覚ましてドキッとしています。このいちちょうの木はお母さんでした。今年も千人の黄金色の子供が生れたのです……。

●宮沢賢治「永訣の朝」。死の床で苦しむ妹が欲しがる雨雪をとるため、賢治は二つの欠けた陶碗を手に、まがったてっぽうだまのように外へ飛び出した。蒼鉛色の雲から沈んでくるみぞれのなか、雪のひとわんを手にした賢治に、妹の思いが聞こえてきて……。

朗読 長尾奈奈

仲代達矢主宰の「無名塾」に二十四期生として入塾。同年『セールのスマンの死』で初舞台。以降、舞台、映画と活動の幅を広げている。主な出演作に、ヴァンニャ・ダルカンタラ監督によるベルギー・フランス・カナダ合作映画『KOKORO』、木村文洋監督による『息衝く』がある。また声の仕事には、佐藤大介監督『狭霧の國』があり、オーディオブック声の書店「日本近代文学名作選」のナレーションも務めている。



当日は日本近代文学館にて「編集者かく戦へり」、併設の川端康成記念室にて「川端文学の名作Ⅱ」の展示会開催日となります。編集者としての菊池寛に関する展示もございます。よろしければ、あわせてご覧ください。

(受付一階) 拝観料 一般300円、中学生・高校生100円



2024年11月9日(土) 14時30分開演

※受付・開場は14時より

前売開始 9月12日(木)

料金 一般2000円(要予約)

高校生以下1000円(要証明書)

チケット取扱 <https://roundoku.talker.jp/>

お問い合わせ info@roundoku.talker.jp

会場 日本近代文学館

主催 ROUNDOKU.TALKER.JP

協力 株式会社 仕事

